

時代を生き抜く

力を考える

2

人文社会学群

東日本大震災8年目

被災地がいま求めるもの、わたしたちができること

2011年3月11日の東日本大震災から7年半が経過した。津波、福島第1原発事故の被災地は、大土木事業の復旧のみが進み、本来の地域再生の担い手である人の「復興」はいまだ遠く、被災地の外では人々の記憶の「風化」が進んでいる。

いま、何が問題なのだろうか？そして、「他者」であるわたしたちに、これからできることは何だろうか？シンポジウムでは、田中氏、寺島氏が東北の津波、原発事故の被災地の現実を、それぞれの視点から紹介する。続くパネルディスカッションでは、横浜からいわき市に移住して、

原発事故被災地である福島県浜通りの現状を発信している山根麻衣子氏と、名取市閑上の仮設住宅などでボランティア活動をしてきた学生をサポートする本学職員佐々木真理氏が加わり、「被災者から生活者へ」という新たなステージにいる当事者に従来の「支援者」でなく「寄り添う者」として、いま、人の復興に「わたしができること」を共に考える機会としたい。

基調講演

「終わらぬ震災、原発事故～2つの視点から見る現状と課題」

田中 重好氏 尚綱学院大学教授

寺島 英弥氏 尚綱学院大学客員教授 河北新報論説委員

パネルディスカッション

コーディネーター



家政学修士(日本女子大学)
1956年青森県生まれ
1980年日本女子大学家政学部被服学科卒業
1982年同大学院修士課程家政学研究科修士
2001年東北大学大学院工学研究科建築学専攻
博士課程後期単位取得満期退学
1982年尚綱学院短期大学
2007年尚綱学院大学生生活環境学科
2014年より同環境構想学科教授

久慈 るみ子氏
尚綱学院大学教授

パネリスト



社会学博士(慶應義塾大学)
1951年神奈川県生まれ
1974年慶應義塾大学法学部政治学科卒
1982年同大学院法学研究科博士課程単位取得退学
1982年弘前大学人文学部
2001年名古屋大学環境学研究所教授
2018年より尚綱学院大学教授

田中 重好氏



1957年相馬市出身(早大法卒)
東日本大震災、福島第1原発事故の被災地取材を続ける。
主著に「福島第1原発事故7年避難指示解除後を生きる」(明石書店)、米国の新聞改革を伝えた「シビックジャーナリズムの挑戦」(日本評論社)、新雑誌「Foresight」に福島ルポを執筆中。

寺島 英弥氏



1976年神奈川県横浜市生まれ
2014年東日本大震災の復興支援業務のため福島県いわき市に移住。
2016年からいわき経済新聞を運営。福島県浜通り地域(主にあいわき市、双葉郡)のニュース・インタビューを発信。ほかに、「70Seeds」「福島TRIP」「COLOCAL」などで執筆。福島と県外の架け橋となるライターを目指している。

山根 麻衣子氏

いわき経済新聞ライター(元・復興支援員)



1971年宮城県生まれ
1994年学校法人尚綱学院入職(財務課、人事課)
2012年エクステンションセンター課(現連携交流課)
2016年連携交流課長就任

佐々木 真理氏

尚綱学院大学連携交流課課長

入場無料

2018.9.20 thu 18:30-20:30 [開場 18:00]

せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

定員100名予定 [一般、大学生、高校生 対象]

*参加ご希望の方は、「申込者名」と「参加人数」を明記し、講演会準備事務局宛にメールでお申し込みください / kinen@shokei.ac.jp

お問い合わせ ● 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1 尚綱学院大学 大学改編準備室(佐々木)
TEL.022-318-3343 FAX.022-381-3325

2019年4月 尚綱学院大学が新しく生まれ変わります。

3学群5学類制START

人文社会学群 心理・教育学群 健康栄養学群

人文社会学類 入学定員 200名

心理学類 入学定員 60名
子ども学類 入学定員 80名
学校教育学類 入学定員 40名

健康栄養学類 入学定員 80名

Passion with Mission

熱い心、響かせる



尚綱学院大学

時代を生き抜く

力を考える

2

人文社会学群

東日本大震災8年目

2011年3月11日の東日本大震災から7年半が経過した。

津波、福島第1原発事故の被災地は、大土木事業の復旧のみが進み、本来の地域再生の担い手である人の「復興」はいまだ遠く、被災地の外では人々の記憶の「風化」が進んでいる。

いま、何が問題なのだろうか？そして、「他者」であるわたしたちに、これからできることは何だろうか？

シンポジウムでは、田中氏、寺島氏が東北の津波、原発事故の被災地の現実を、それぞれの視点から紹介する。続くパネルディスカッションでは、横浜からいわき市に移住して、

原発事故被災地である福島県浜通りの現状を発信している山根麻衣子氏と、名取市閑上の仮設住宅などでボランティア活動をしてきた学生をサポートする本学職員佐々木真理氏が加わり、「被災者から生活者へ」という新たなステージにいる当事者に

従来の「支援者」でなく「寄り添う者」として、いま、人の復興に「わたしができること」を共に考える機会としたい。

基調講演

「終わらぬ震災、原発事故～2つの視点から見る現状と課題」

田中 重好氏 尚綱学院大学教授

寺島 英弥氏 尚綱学院大学客員教授 河北新報論説委員

パネルディスカッション

コーディネーター



家政学修士(日本女子大学)
1956年青森県生まれ
1980年日本女子大学家政学部被服学科卒業
1982年同大学院修士課程家政学研究科修士
2001年東北大学大学院工学研究科建築学専攻
博士課程後期単位取得満期退学
1982年尚綱学院短期大学
2007年尚綱学院大学生生活環境学科
2014年より同環境構想学科教授

久慈 るみ子氏
尚綱学院大学教授

パネリスト



社会学博士(慶應義塾大学)
1951年神奈川県生まれ
1974年慶應義塾大学法学部政治学科卒
1982年同大学院法学研究科博士課程単位取得退学
1982年弘前大学人文学部
2001年名古屋大学環境学研究所教授
2018年より尚綱学院大学教授

田中 重好氏



1957年相馬市出身(早大法卒)
東日本大震災、福島第1原発事故の被災地取材を続ける。
主著に「福島第1原発事故7年避難指示解除後を生きる」(明石書店)、米国の新聞改革を伝えた「シビックジャーナリズムの挑戦」(日本評論社)。
新雑誌「Foresight」に福島ルポを執筆中。

寺島 英弥氏



1976年神奈川県横浜市生まれ
2014年東日本大震災の復興支援業務のため福島県いわき市に移住。
2016年からいわき経済新聞を運営。福島県浜通り地域(主にいわき市、双葉郡)のニュース・インタビューを発信。ほかに、「70Seeds」「福島TRIP」「COLOCAL」などで執筆。
福島と県外の架け橋となるライターを目指している。

山根 麻衣子氏

いわき経済新聞ライター(元・復興支援員)



1971年宮城県生まれ
1994年学校法人尚綱学院入職(財務課、人事課)
2012年エクステンションセンター課(現連携交流課)
2016年連携交流課長就任

佐々木 真理氏

尚綱学院大学連携交流課課長

入場無料

2018.9.20 thu 18:30-20:30 [開場 18:00]

せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

定員100名予定 [一般、大学生、高校生 対象]

*参加ご希望の方は、「申込者名」と「参加人数」を明記し、講演会準備事務局宛にメールでお申し込みください / kinen@shokei.ac.jp

お問い合わせ ● 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1 尚綱学院大学 大学改編準備室(佐々木)
TEL.022-318-3343 FAX.022-381-3325

2019年4月 尚綱学院大学が新しく生まれ変わります。

3学群5学類制START

人文社会学群 心理・教育学群 健康栄養学群

人文社会学類 入学定員 200名

心理学類 入学定員 60名
子ども学類 入学定員 80名
学校教育学類 入学定員 40名

健康栄養学類 入学定員 80名

Passion with Mission

熱い心、響かせる



尚綱学院大学